

都道府県退職校長会の歩みと展望

北海道

北海道退職校長会

設立 昭和40年 5月23日

◇ 会の歩み

本会は昭和40年5月に創立されました。当初の会員はわずか236名であったと伝えられています。以来50年、「会員の福祉増進を図り、北海道の教育振興に寄与する」とした設立の精神は、先輩諸氏により脈々と受け継がれ、年を追って組織は拡充され、平成13年度には現在の40支部になりました。平成16年頃は会員数約6,000名を数えましたが、その後、学校数減や年金受給時期の延伸、所属意識の変化等から現在は5,000名を少し割るといった状態です。



平成27年は創立50周年の節目の年に当たり、会員の一人ひとりが設立の精神を再確認すると共に、将来展望をもってさらなる発展への誓いを新たにしたいと思います。

◇ 「北海道教育の日」制定

平成15年度より「北海道教育の日」制定に向けた取り組みが始まり、平成18年11月1日に制定をみるに至り、平成26年3月末現在24市町村に制定されております。

◇ 経費節減に向けた取り組み

会員数減に伴う経費節減に向けて、平成23年度より諸会議の回数を下記のように減らし、また、会報「退職校長会だより」は発行回数を年6回から4回とし、「会員名簿」は全会員に配付することを止め、支部ごとに会員数に応じて最大5冊配付することにしました。

- ・定期総会（年1回） ・事務局会（年12→10回） ・拡大事務局会（年7→6回）
- ・理事会（年4→3回、平成26年度より2回） ・役員会・支部代表者会（年2→1回）
- ・部会〔組織、広報、福祉、教育情報〕（年1～2回減らし随時）

◇ 特色ある活動事例

① 支部代表者会…事務局及び4部会より事業の執行状況の報告があり、その後、共通する課題について情報交流を行います。平成24・25年度は「会員数の確保」「教育支援活動」について話し合いました。平成26年度は「支部活動の交流を通して、他支部の実践に学ぶ」をテーマに、参加者が発言の機会を多くもてるようにと、4グループに分かれて話し合いを行いました。その後、全体交流を予定しておりましたが、残念ながら時間切れのため中止になってしまいました。

② 地域懇談会…全道を8地域に分け、「地域内支部間の交流と本部を交えて共通する課題等について懇談し、理解を深め、本会の組織強化を図る」ことを目的とした事業です。5年一巡を目途に実施しております。

